

ふくしま県人会だより

創刊十周年・第二十号記念号

第20号
平成21年8月
福島県人会
北海道連合会

就任あいさつ

〜先人の歩んだ道から学ぶ〜

会長 熊坂 成剛



今春の連合会総会におきまして、会長に推挙頂き、その重責を担うこととなりました。

今ここに改めてご挨拶申し上げ、皆様のこれからのお力添えをお願い申し上げます。

長谷川前会長におきましては、会員が今日まで一致結束して会を盛り立てられましたその指導と会に対する貢献の大きさに対しまして、深甚なる敬意を表するものであります。

ります。

浅学非才の私にとりましては大変荷の重い役目でありますが、一生懸命に努めてまいりたいと思っております。各県人会の役員の皆様はじめ県人各位のご協力を心からお願い申し上げます。

思い返してみますと、母県福島を築き上げてきた祖先は、どのような道を歩いてきたのでしょうか。大変な苦勞をしつつ築き上げてきたものと思ひます。

群雄割拠した戦国時代から日本の新たな幕開けの時代、日中や太平洋戦争の時代、敗戦以降の時代、化石燃料から燃料革命の時代など、その時々をたゆまざる努力と高い矜持を持って今の福島県を作り上げてきたと思ひます。

また、北海道県人会においても、故郷を離れてこの北海道へ渡り、開拓の時代から近代化された北海道の時代に向かつて歩んだ道は、ひと口では言い尽くせないことがあったと思ひます。

更に、東北六県を超える広大な

面積を持つ北海道で県人会を統一したことへ大きな敬意を表します。この先達が歩み続けてきた道。私は、会津の五街道とは、会津若松市の大町札の辻を起点として、「下野街道」、「二本松街道」、「白河街道」、「米沢街道」、「越後街道」であることを知り、城下町が起点になってることとで、政治経済全てがこの街道を通っていたことを知りました。

県民がその道を歩み、北海道へ渡つても同じように黙々と自分の道を歩んだと思ひます。そうして作られたのが忍耐と努力と矜持の高さの県民性でありましょう。

私は、県民の誇りを持ち、母県の発展を願いつつ職責を果たす所存ですので、宜しくお願ひします。

創刊二十号記念 特別寄稿

へその緒のつながり

顧問 上田 小八重



函館福島県人会は、昭和のはじめから同好会として交流をしてきたが、昭和



函館県人会による「傷心惨目碑前祭」

三十七年一月二十六日の総会で組織を整備、会長・渡辺祐之介氏を選出した。

年間行事として、一月の総会・新年会、五月十一日の傷心惨目碑前祭、春の清遊会、六月の道連総会、十一月の秋の清遊会を行っている。傷心惨目の碑は、函館市内高龍寺境内にあり、「以弔為」と簡単に記されている。傍らに福島県知事松平勇雄氏の献樹ベニサラサドウダン、会津若松市長桜木幸次氏のオンコが、すくすく伸びている。

松平知事は、植樹で来函の折、函館山麓の「碧血碑」にも詣でられ、松に囲まれた風情や、碑前から見下ろす町並みを「飯盛山とそっくり

だ」と懐かしんでおられました。

碧血碑は、函館戦争での犠牲者を祀り、「義に殉じたものの血は、碧くなる」から取られたもの。戊辰戦争の最後の砦となった五稜郭。いまその奉行所の復元工事が、最後の仕上げにかかっている。

この五稜郭公園には、須賀川市長から寄贈された「牡丹」十二本が研を競って咲く。他の三十八本は市民の森にある。

第一回福島県人会北海道連合会が開かれたのは、昭和四十八年五月七日、函館湯川温泉芳明荘である。初代会長に選ばれた渡辺祐之介とともに、この立ち上げに携われた者のひとりとして、今なお道連総会に出席できることをありがたいことと思っている。この総会に、歴代の知事ご夫妻のご出席もありがたいことである。

県人会は、へその緒のつながっている仲間と言われている。こうした仲間を得ていることは、何ともありがたいことである。これからも充実した日々を共有していきたいと思う。

会の発展に協力を惜しまず

前会長 長谷川 顕

「県人会だより」二十号発刊に当たり一言お祝いを申し上げます。

七月というのに未だ肌寒い日が続いており、当地方(道北)では、降雨

量の多さ、日照時間の不足等、異常な天候に見舞われております。

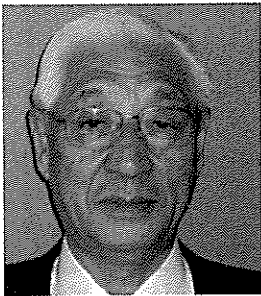
さて、去る五月の連合会総会には、佐藤雄平福島県知事ご夫妻、瓜生信一郎福島県議会副議長ご夫妻、山本邦彦北海道副知事等、多くの来賓のご臨席を賜り、大変有意義な総会を開催できましたことに感謝を申し上げます。

札幌県人会の皆様には、総会のホストをしていただき、厳肅な内にも楽しい運営への気配りに対し、厚く御礼申し上げます。

また、私事で恐縮ですが、三期六年間にわたり、会員皆様のご協力、ご支援をいただき、北海道連合会会長を無事務めさせていただきましたことに衷心より厚くお礼申し上げます。

会員の皆様の期待に応えられたか、連合会の発展に励えられたか、私なりに一生懸命努力をしたつもりですが、意の届かぬところはお許しをいただきたいと思えます。

また、新会長になられました熊坂成剛様には期待を込め、私同様ご支援、ご協力を賜りますことを切



にお願い申し上げます。今後陰ながら連合会発展のために協力を惜しまぬことをお約束いたします。

ます。

月日の経つのは早いもので、「県人会だより」も創刊以来十年の年輪を重ねました。

創刊時の会長でありました、函館県人会の上田小八重様の見識の高さには敬服いたします。

それに引き替え、私の勉強不足には、ほとほとあきれれるものでした。

県人会だより各号の冒頭のあいさつには頭を悩まし、いつも同じような文面になってしまったことをお許しいただきたいと思えます。

最後になりましたが、会員皆様のご健勝を記念し、福島県人会連合会のみならずの発展を祈念し、お礼とお祝いのご挨拶に代えさせていただきます。

会員通信

札幌県人会の近況

札幌県人会 井上専治

*五月二十三日は、第三十七回連合会総会の日でした。その準備には、一年前から役員は勿論、高橋副会長をトップとする婦人部を中心として取りかかり、用意万端。その成果は、そして、揃いの半纏はいかがでしたか。

全道からご参加の皆さんのご協力により議案も全員賛成で承認、旧交を温

め、記念写真撮影、そして本番の懇親会へ。節々に新たな思い出を作られたことと拝察いたします。

佐藤知事ご夫妻をはじめ一六五名のご参加の皆様、改めて感謝申し上げます。皆さんの「翌朝のいきいき」として希望に満ちた顔に接して、菅野会長を先頭に頑張った結果であり、大成功であったと自画自賛いたしました。

そこで、最後に皆でお見送りをしようということになり、二十四日ホテル玄



知事ご夫妻・副議長ご夫妻をお見送り

関での記念撮影となったわけです。ご笑覧ください。

*六月十三日には、福島県からのY O

SAKOI参加チームを応援しました。まず、下郷町のチーム「郷人」を激励するため、下郷町の室井教育長と同楨原小学校の常法寺校長をホテルクレストにお招きして激励夕食会を催し、その後、大通会場で郷人チームを応援しました。つづいて八丁目ステージでチーム「SEED」(福島県の大学生)の演舞があり、全員で応援しました。

*六月二十日には、連合会総会の「ご苦労さん会」を東急インで開催しました。二十三名が出席した盛大な慰労会で、連合会総会はどうあるべきかを次の札幌担当まで申し送りして行こうとなり、それぞれの苦労話に華を咲かせ、お互いの今後の健康と活躍を誓い合いました。

*七月二十一日には、県事務所で恒例のミスビーチと県くだもの消費拡大委員会の表敬訪問を受けました。いよいよモモ商戦が本番です。

*九月三日〜八日迄福島県物産展があり、毎年出展者激励会をやっており、今年はこれに第二十二回全国健康福祉祭ねりんピック北海道・札幌二〇〇九が九月五日〜八日まであり、県から一六三名来道されます。

これで二十一年上半期の行事はおおかた終了となりますが、そして、来年平成二十二年には、最大の行事として、母県訪問への参加があります。

現在の札幌県人会の会員数は六十二名です。なんとしても今後会員を増加できるようにお互い頑張ろう。そして、後輩にバトンタッチしよう。

私と県人会の思い出

札幌県人会 間部賢司

昨年札幌福島県人会に入会し、皆さんに良くしていただき、「福島県人会北海道連合会総会」を楽しみに参加しました。会場は大勢の人でいっぱいびっくり、参加して良かったと思っています。会場でのことは一寸置いて、県人会と私の思い出を少し話したいと思います。

昭和三十五年二月、会津高校スキー部員として、インターハイ出場のため小樽市に來ました。当時は米を持参できたのですが、会津米を売ってしまつて困つているときに、県人会の小樽支部の方(写楽という写真



同窓会設立で奉納した白虎隊剣舞

屋さん)から米を差し入れていただき、大会に無事出場できたという思い出があります。十日間ほど小樽・札幌にいて、すっかり北海道が気に入り、昭和四十年秋に希望して札幌に転勤してきました。何年だったかは忘れましたが、県事務所の小池所長に誘われて県人会に出席したこともあり、当時若く、一度きりの出席でした。

こんな思い出を持ちつつ連合会総会に出席しましたが、総会の後、県知事夫人から声をかけられてビックリ。同郷で恩師の娘さんでした。また、姉と同級生の西田氏にも声をかけていただき更にビックリでした。道内各地から大勢の方が来られていることを力強く感じ、更に強く郷土愛を大切に思っております。親交の輪を広げていただきありがとうございます。うございました。

昨年春に札幌に來て福島県物産展に行った際に県事務所の方にお会いし、ときどき事務所を訪ねていました。そのとき私は高校同窓会を立ち上げる準備をしており、いろいろと協力いただき、おかげで五月二十日に「会中・会高北海道同窓会」第一回総会を無事開催できました。当日は白虎隊剣舞を奉納し、老若共々楽しい一夜を過ごせました。

同窓生五十二名ですが、連絡の取れない方もいらつしやいますので、お知り合いの方がおられましたら連絡くださいますようお願いいたします。

北海道に渡つて十一年

稚内県人会 佐々木 正

月日の経つのは早いもので、いわき市から北海道に渡つて十一年目になりました。現在は、稚内市隣のオホーツク海に面する猿払村国保病院薬剤師として勤務しています。

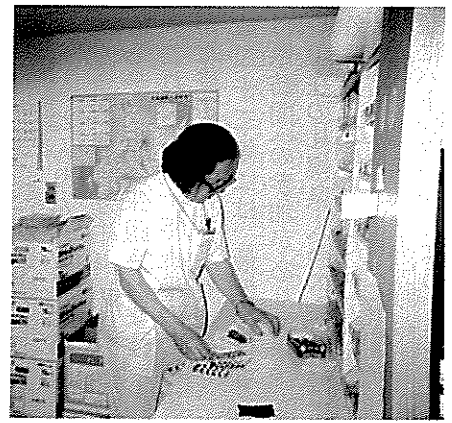
猿払村は、人口二千八百人、日本一の五年物天然ホタテ貝漁獲量と広大な牧場を誇る日本最北端の小さな村です。

これまで道内で住んだ所は、穂別町(現むかわ町)、名寄市、猿払村の三方所で、誰一人知り合いもない土地で札幌県人会に入会しました。最初は北海道新聞社に問い合わせたところ、福島県事務所を紹介され、お国訛りいっぱいの雰囲気は温かく感じられました。

県人会には、従姉の同級生や国会議員の先生など多士済々の会員がおり、しかも全道で当時八百名の会員がいることを知りました。

北海道に住んで働いてみると、福島県では見られない広大な風景が、精神的にゆつたりとした生活を与えてくれました。

食材もおいしく、福島ではジャガイモを殆ど食べませんでした。地元の方に土地や朝晩の寒暖差でおいしいジャガイモになると説明されたからよく食べるようになりました。しかも、種類が多く色彩も豊か



地域医療に取り組む筆者

です。

メロンの産地穂別では、農家から作り方、半分にカットした豪快な食べ方、メロンの種類などを教わり、食べ過ぎたこともありました。(糖度十五度以上あり、肥満になりました)

名寄では、ダイヤモンドダスト舞う冬の厳しい寒さに耐え、生産日本一のアスパラガスや落葉ダケを堪能し、国立薬用植物栽培試験場で北方系薬用植物を観察したことなどが印象に残っています。

緑豊かな牧場の十キロに及ぶ平坦な直線道路のドライブは圧巻です。「東洋の中のヨーロッパ風景だ！」と表現した人がいました。

北海道は、花や緑が豊富で美しく、海産物は太平洋、オホーツク海、日本海それぞれ味が違い、農産物も多種多様であり、観光地としても定年後の移住地としても魅力があります。

しかし、故郷はいわきです。本屋に行くとき自然に時刻表を見ることがあり、常磐線のページをめくると、親、兄弟、友人、患者さんの顔が思い浮かぶことがあります。北海道にいても福島県人であることに変わりない心境です。

現在、「広報さるふつ」の「病院薬局の窓口」で健康や薬などについて執筆中です。興味がありましたら、パソコンで検索してください。

連合会の活動

第三十七回連合会総会

五月二十三日に札幌市「定山溪ビューホテル」を会場に、佐藤雄平知事御夫妻、瓜生信一郎副議長御夫妻、山本邦彦北海道副知事を来賓としてお迎えし、総勢一六五名が参加して盛大に開催されました。

席上、知事感謝状が熊坂成剛さん(函館)に、連合会長感謝状が添田公さん(札幌)はじめ十名の方に贈呈されました。

札幌県人会の菅野勉吉会長を議長に議事に入り、事業計画、収支予算などの議案が満場一致で承認されました。また、任期満了に伴う役員改選の報告がありました。

最後に、次回総会開催地である千歳県人会の木内将一会長からあ

いさつがあり、来年の再会を誓い合いました。

新役員

顧問	上田小八重 (函館)
会長	熊坂成剛 (函館)
副会長	木内将一 (千歳)
同	神野修 (苫小牧)
同	渡辺忠助 (紋別)
理事	長谷川顕 (稚内)
同	菅野勉吉 (札幌)
同	打地健一 (美幌町)
同	高玉紀男 (帯広)
同	天野登恵 (浜中町)
同	金子民男 (旭川)
監事	白石政司 (別海町)

新会員紹介

札幌県人会

後藤千英子(ことうちえこ)須賀川市

函館県人会

富山信行(とみやまのぶゆき)白河市

田中征一(たなかせいいち)会津若松市

苫小牧県人会

紺野八千代(こんのやちよ)会津若松市

丸田洋子(まるたひろこ)相馬市

浜中町県人会

小林千代(こばやしちよ)

川口正仁(かわぐちまさひと)郡山市

佐川雅子(さがわまさこ)

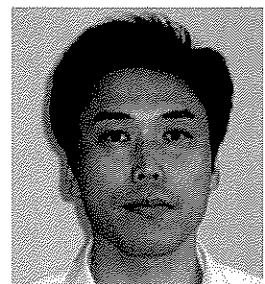
井上トミ(いのうえとみ)

新任職員紹介

副主査

八木橋大祐

青森県出身



これまで税務や廃棄物の行政に携わってきました。最初、北海道への赴任を打診されたときはびっくりしましたが、今では福島県を外から見ることができ、良い機会だと思っております。現在は、主に観光と農産物について担当しており、慣れない業務に戸惑いながらも、福島県の認知度アップのために奮闘中です。

北海道では仕事での充実と思っております。数ヶ月経った最近になって札幌市外に足を伸ばし始めており、先日もうややく旭山動物園に行ってきました。北海道の風景の魅力にとりつかれつつあり、いずれ自転車で道内各地をツーリングしたいと思っております。県人会の皆様には名所をいろいろ教えていただければ幸いです。よろしくお願いたします。

編集後記

これまでの十年間、多くの方々からのご寄稿が紙面を盛り上げてくれましたことに感謝いたします。